

案内

ヘルスケアワーカーキャリア学会キックオフ・フォーラム

テーマ：ヘルスケアワーカーはキャリアをどうデザインするか

日時：10月8日(月・祝) 10:00～16:00 (9:30 開場)

会場：ナーシングアート大阪レモンホール(大阪市城東区)

プログラム：キックオフ・スピーチ勝原裕美子(ヘルスケアワーカーキャリア学会設立発起人代表、オフィスKATSUHARA代表)／講演1「節目のキャリア・デザイン」金井壽宏(神戸大学大学院経営学研究科教授)／リレートーク「キャリアのパラエティ」／アクティブ・ラーニング「自分のキャリアをどう活かすか?」／講演2「ヘルスケア業界におけるキャリア支援」西尾久美子(京都女子大学現代社会学部現代社会学科教授)／対談「ヘルスケアワーカーのキャリア・デザイン」勝原裕美子、金井壽宏

対象者：ヘルスケアに関わるすべての人
参加費：6000円(税込、資料代含む)

申込方法：パソコンまたはスマートフォンなどから、<https://hccareer.peatix.com>にアクセスの上、チケットを購入(クレジットカード、ATM、コンビニで支払い)。

※当日はスマートフォン画面、もしくは印刷したチケットを提示。キャンセルは不可。出席できなくなった場合は代理の出席を

定員 300 名

問い合わせ先：

E-mail: uoray@live.jp

案内

日本看護協会 看多機運営セミナー

テーマ：地域に根付き、地域を支える看多機を作るには

日時：10月10日(水) 9:30～15:10(開場 9:00～)

会場：日本看護協会 JNA ホール(東京都渋谷区)

プログラム：講演①「看多機創設期からの動向と今後の展望(仮)」荒木暁子(日本看護協会常務理事)／②「看護職・介護職の協働のポイント(仮)」橋本美香(東北文

教大学短期大学部人間福祉学科教授)／

③「横浜市における看多機の推進(仮)」秋山直之(横浜市健康福祉局高齢健康福祉部介護事業指導課課長補佐)／事例紹介

④「看護職・介護職の協働と人材育成(仮)」福田裕子(まちナースまちのナースステーション八千代統括所長)／⑤「重症者への対応と看取り(仮)」山根優子(ホットケアセンター社長、複合型小規模多機能はつとの家)／⑥「共生型サービスへの取り組み(仮)」林田奈緒美(リンデン代表取締役、ナーシングホーム岡上)／⑦「地域とのコミュニケーションのとり方(仮)」上野幸子(佐賀市在宅医療・介護連携センター相談員)／事例紹介・質疑／全体討議

対象：看多機事業者(管理者など)、看多機開設を予定または検討している事業者など、市町村・都道府県介護保険担当
定員：210名(応募多数の場合は1事業所あたり1名までの場合あり)

参加費：会員 5000円・非会員 7000円(税込)

申込方法：下記日本看護協会ホームページの申込フォームより

問い合わせ先：日本看護協会医療政策部在宅看護課

TEL:03-5778-8804 (9:00～17:00)

E-mail: zaitaku@nurse.or.jp

URL: <http://www.nurse.or.jp/>

案内

日本こころの安全とケア学会 第1回学術集会・総会

テーマ：「The first step! 伝承と発展」

日時：12月1日(土)～2日(日)

会場：都立松沢病院体育館(東京都世田谷区)

内容：理事長講演／特別講演／研究論文発表／実践報告／シンポジウム／ミニ・セミナー①CVPPP研修講義のコツ、②CVPPP研修実技のコツ

参加費：(事前申込)会員 3000円、非会員 4000円、(当日参加)会員 4000円、非会員 5000円

問い合わせ先：学術集会事務局

〒156-0057 東京都世田谷区上北沢 2-1-1

TEL:03-3303-7211(内線 2207, 9002)

E-mail: mt_coco.an-care1@tmh.jp

案内

京都橘大学 看護国際フォーラム 2018

日時：12月1日(土) 13:00～16:30

会場：国立京都国際会館 Room A(京都市左京区)

テーマ：つながる、ひろがるケアリングの輪—専門職連携教育のこれから

講師：Gary D. Rogers (Professor, MBBS MGPPsych PhD, Deputy Head of School, Griffith University), 酒井郁子(千葉大学大学院看護学研究科教授、専門職連携教育研究センター長)

対象：看護職者、介護職者、医療関係者(学生可)

受講料：3000円(税込)

定員：300名(先着順)

申込受付：10月1日(月)より

申込方法：京都橘大学エクステンション講座ホームページ(http://www.tachibana-u.ac.jp/research_area/extension/2018/07/2018-6.html)の申込フォームより

問い合わせ先：京都橘大学エクステンションセンター(学術振興課)

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町 34

TEL:075-574-4186(直通)(土日祝を除く 9:00～17:00)

FAX:075-574-4149

E-mail: aca-ext@tachibana-u.ac.jp

助成

平成 31 年度 木村看護教育振興財団 助成等募集

■海外看護研修助成

研修先：メイヨークリニック(Mayo Clinic)(米国ミネソタ州ロチェスター)

応募資格：次のいずれにも該当する者

- 1) 日本在住で看護師・助産師・保健師のいずれかの資格をもっていること
- 2) 看護実務経験が5年以上あり、現在、臨床の現場に従事している者
- 3) 心身ともに健康であること
- 4) 関係所属長の推薦があること
- 5) TOEIC600点以上、TOEFLの所定の点数(CBT173点以上またはIBT61点以上)またはIELTS5.0点以上をもっていること

※研修には通訳は付かないので、日常会話と看護の専門分野の英語力が必要

募集人員：10名

研修方法：研修者の目的に応じた個別プログラムに沿った講義、実習および見学による研修

研修時期・期間：平成31年9月中旬から渡航日数を含めて約3週間

助成範囲：研修費、宿泊費、羽田空港発着の往復渡航費

応募方法：下記ホームページより、「平成31年度海外看護研修助成申込書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、本財団に郵送。応募資格5)に記載している英語力をもっていることを示すスコア証明書の写しを同封すること

※選考の結果を通知するため、申込者の住所、氏名を記入した返信用定型封筒(82円切手貼付)を同封のこと

申込締切日：平成31年1月24日(木)必着

選考結果：3月下旬に通知

■看護研究助成

助成対象：看護の質的発展・充実が期待できる先駆的研究で、療養環境に関わる研究など、臨床の役に立つ未発表のもの。共同研究歓迎

平成31年度助成する研究の分野：基礎看護・成人看護・老年看護・小児看護・母性看護・精神看護・地域看護・在宅看護・看護管理・看護教育・その他

応募資格・要件：

1)日本在住の看護職者で、臨床・地域看護に従事している個人、または前者を共同研究者に含むグループ

※上記の要件を満たしていない場合は受け付けない(名前だけの看護職者の共同研究者は認めない)

※教員・大学院生のための申し込みは対象とならない

2)倫理的に許される研究であること
3)関係所属長の許可・推薦があること
4)研究の成果は関係学会へ発表すること

助成金額：1件につき100万円を限度

助成金の使途および報告：

(1)助成金の使途には、研究協力者経費、旅費交通費、調査費、資料・印刷費、会議費、通信・運搬費、機器・備品費、消耗品費等を含む。ただし、給与形式の人員費は対象から除外(ホームページの別紙「研究助成費目一覧」参照)

※助成金は年度を超えて支出してもかま

わない

(2)助成金の使途については、正規の報告書とともに報告してもらう。なお、必要に応じて領収書等を添えて詳細な報告をしてもらうことがある

応募方法：下記ホームページの「平成31年度看護研究助成申込書」に必要事項を記入の上、本財団へ郵送

※選考の結果を通知するため、申込者の住所、氏名を記入した返信用定型封筒(82円切手貼付)を同封のこと

申込締切日：平成31年1月24日(木)必着

選考結果：3月下旬に通知

助成金の贈呈：6月中旬予定

※助成が決定した研究の代表者は後日「助成金交付請求書」を提出

研究成果の報告：研究の成果および助成金の使途状況について、平成32年9月30日までに本財団所定の様式により報告。研究成果は、平成33年7月頃に発行予定の「木村看護教育振興財団—平成31年度看護研究助成事業—「看護研究集録28号」」に掲載。本研究の成果を関係学会等に発表する際には、公益財団法人木村看護教育振興財団助成による研究である旨を明記のこと。また、研究報告書の学会誌等への投稿は、当財団の看護研究集録28号に掲載し発行された後で行うこと

■専門看護師(CNS)奨学金

募集分野：平成30年9月時点で公益社団法人日本看護協会専門看護師制度委員会が特定している次の13専門看護分野について募集

がん看護、精神看護、地域看護、老人看護、小児看護、母性看護、慢性疾患看護、急性・重症患者看護、感染症看護、家族支援、在宅看護、遺伝看護、災害看護

支給対象者：看護系大学大学院修士課程専門看護師教育課程2年コースの2年次進級予定者で、次の1)・2)を満たしている者

1)大学院は、日本看護系大学協議会により専門看護師教育課程の認定を受けた大学院の当該課程に在籍している者

2)臨床あるいは地域看護の分野で専門看護師認定を受けられる実務経験を満たせる者

支給額：年額60万円

支給期間：1年間(4月から翌年3月まで)

支給条件：看護系大学大学院専門看護師教育課程に在籍し、修学中の者で平成32年3月に同課程修了後、専門看護師として必ず資格認定を受け、認定された看護専門分野の臨床に2年以上就業することを確約できる者。ただし、支給条件に反した場合には、奨学金の返還を求め

奨学金申請手続きに必要な書類：

- (1)本人記載の申請書(別紙様式1)
- (2)専門看護師としての将来展望、抱負
- (3)1年次前期の成績証明書
- (4)指導教員の推薦書(別紙様式2)
- (5)3年以上の実務経験(すべて)を証明する書類(別紙様式3)

※(2)の書面の様式は自由。ワープロ1200字程度を上限にA4版で記載すること

※(3)(4)についてはそれぞれ封印されたものを同封すること

※(5)の(別紙様式3)については下記ホームページより必要用紙等をダウンロードして使用のこと

※要綱、応募用紙は下記ホームページ申請書申込フォームよりダウンロードして使用のこと

※選考の結果を通知するため、申込者の住所、氏名を記入した返信用定型封筒(82円切手貼付)を同封のこと

奨学金受給者の事後報告義務等：

証明に関するものは、その都度速やかに提出すること

- ①大学院修士課程、専門看護師教育課程の修了を証明するもの
- ②専門看護師の認定を証明するもの
- ③就業先の在籍を証明するもの
- ④氏名や住所等の変更

申込締切日：平成31年1月24日(木)必着

選考結果：3月下旬に通知

【共通】

問い合わせおよび申込書送付先：公益財団法人木村看護教育振興財団

〒113-0033 東京都文京区本郷5丁目25番14号 ナガセ東大赤門前ビル8階
TEL:03-5800-2700

FAX:03-5800-0022

E-mail:kimura-info@nurseed.jp

http://www.nurseed.jp/